



(多機能性人工エクソソーム(iTEX)医薬品化実践を通じた操薬人育成事業)
(創薬人育成のための創薬実践道場教育構築事業)

特別講演会のお知らせ

脳梗塞治療法を刷新するDDS創薬を目指して

講師：奥 直人 先生

静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府
薬学研究院医薬生命化学教室 教授

日時：2016年1月25日（月）

17:00～18:00

場所：第一講義室

脳血管疾患は我が国の死因別死亡率第4位、要介護に至る第1位の疾患であり、患者のQOL低下や医療・介護の負担から画期的な治療法が望まれる疾患である。脳梗塞は、脳血管障害の6割を占める虚血性疾患である。虚血時には、患部の血管透過性が亢進し、がん治療におけるEPR効果と同様な機構によりナノ粒子が脳組織内に浸潤・蓄積する。演者らは、この機構を利用し、DDS製剤が脳梗塞治療に有効に働きうる可能性について検討してきた。本講演では研究の着想と脳梗塞治療を目的としたDDS製剤の開発について概要を述べるとともに、今後、どのようにして脳梗塞を克服できるかを、DDS創薬の利用をもとに考えてみたい。

【連絡・問い合わせ先】

薬物動態制御学分野 石田 竜弘、安藤 英紀

TEL: 088-633-7259 FAX:088-633-7259

E-mail:h.ando@tokushima-u.ac.jp